

自然の「つる」でかご作り

＜埋没林博物館ふれあい学習会＞

11月24日、晩秋にはめずらしく爽やかな青空がひろがったこの日、埋没林博物館のふれあい学習会「つるつるつるつる」が行われました。

参加した親子連れらは、片貝の沌滝付近の林道で材料になりそうな「つる」を採取した後、博物館にもどってかご作りに挑戦！なかなか思い通りに曲がってくれないつるに悪戦苦闘しながらも自然味あふれる自分だけのオリジナルかごを完成させていました。



(沌滝付近林道)

●今月の主な内容●

- 大雪に備えましょう……………2～3
- 市長と語る会ダイジェスト①…4～8
- 市の台所事情・職員の給与状況…10～11
- 年末年始のお知らせ……………22～23

大雪に備えましよう！

——まもなく雪の季節です——

師走に入り、冬将軍が動き出しそうな季節になりました。本格的な雪の季節の前に「わが家の備えは大丈夫？」と点検してはいかがでしょうか。

記憶に新しい今年1月の集中降雪

気象庁の今年11月から来年1月までの3か月予報によると平均気温はやや高め、降雪量は平年並みと発表されていますが、恐ろしいのが短時間で集中して降る雪です。今年の1月は魚津市で局地的に5日間も降り続け、市内各地で大きな被害をもたらしています。特に1月15日から16日までの24時間には75cmという、ここ十数年に無い記録的な積雪となりました。

市では除雪計画に基づいて作業を進めていましたが、昼夜の作業にも関わらず、除雪が追いつかない状況に至り、交通がマヒ状態となりました。市民の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。

また、投雪による溢水により床下浸水などの被害がでたことなどから、地域ぐるみでの協力体制の重要性が改めて認識されました。生活様式の変化とともに、暖冬に慣らされた私たちへの教訓がいくつかあったようです。

「備えあれば憂いなし」と言われるように暖冬であっても豪雪への心構えは持っておかねばなりません。



除雪はみんなで取り組みましよう。

道路除雪は、市民の皆さんのご協力がキーポイント。助け合い、市民総ぐるみで雪を克服しましょう。

市では、12月1日から道路除雪対策本部（市建設課内）を設置し、国及び県と連携しながら道路交通の確保に全力で取り組みます。

そこで、市民の皆さんも次の点にご注意ください。

◆道路除雪は積雪10cmから始めます。

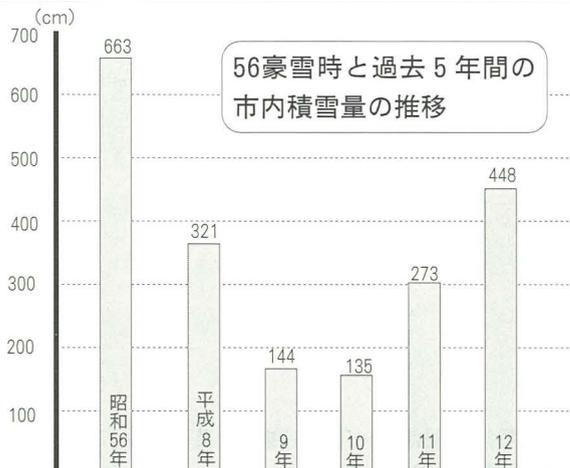
今冬の市の除雪は、市内業者の皆さんの協力を得て行います。除雪対象路線は、原則市道とし352路線、221kmで、積雪が10cmを越え、さらに降雪が予想される場合に出動します。



◆バス路線を優先します。

除雪計画路線は、交通量や生活に関わる重要性を考慮して、公共の足であるバス路線、通学、通勤に影響する路線、交通量の多い路線の順序で実施します。

56豪雪時と過去5年間の市内積雪量の推移



◆道路除雪についての問合せ先

市道→市役所建設課 ☎23-1028

県道→魚津土木事務所 ☎24-5311

国道→黒部国道維持出張所 ☎52-1714



また、民家前の歩道部及び路肩部は除雪車が通ったあと雪が残りますが、住民の皆さんのご協力をお願いします。

◆地域ぐるみでの協力をよろしくおねがいします。
道路除雪は機械除雪を原則としていきますので、道路幅が狭く除雪機械が進入できない道路は地域の皆さんのご協力により除雪をお願いします。

◆路上駐車は絶対に禁止

道路除雪の最大の障害は路上駐車です。除雪作業の時間的ロスはもちろんのこと、緊急車両の通行の妨げになり大変な惨事を招くことになります。路上駐車は絶対にやめて下さい。(道路の状況によっては除雪できないことがあります。)

◆流雪溝や水路への投雪は計画的にしてください。

流雪溝や水路等への無秩序な投雪は、水がふれ出すなどトラブルのものになります。地区で話し合い、一度に大量の雪を捨てずに計画的に投雪するようにして下さい。

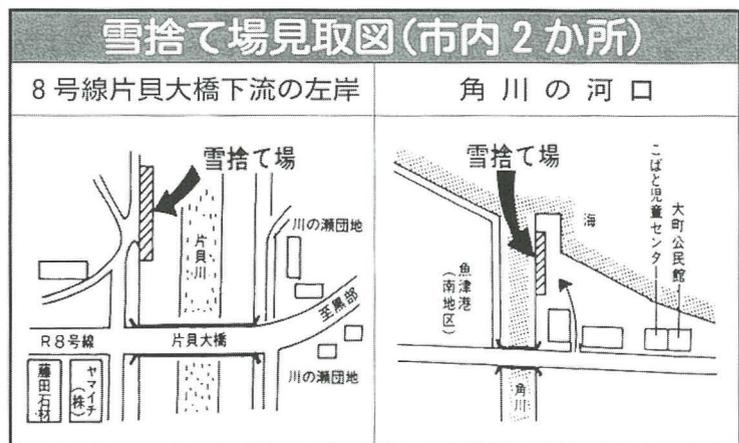


流雪溝への無秩序な投雪が大きな溢水の被害をもたらすこともあるので注意しましょう！

◆早朝作業にご理解ください。

朝の通勤・通学に間に合わせるためには、真っ暗な早朝(3時前後)から作業を行う必要があります。除雪車の音がうるさい等の苦情がありますが、ご理解下さい。

◆雪捨て場は次の2か所です



消雪施設維持管理費助成金制度をご利用いただけます

民間で敷設した消雪施設の維持管理に対する助成金制度をご利用いただけます。

主な条件は次のとおりです。

- ①総延長100m以上
- ②対象戸数が10軒以上
- ③自主管理組合又は、管理組合がある

▼詳しくは市役所3階建設課

☎23・1028までお問合せ下さい。

水道管にも冬支度を

冬期間は、水道管や蛇口が凍って水が出なくなったり、破裂することがあります。水道管の露出している箇所や風当たりの強い所は、保温材を取りつけるなど、水道管にも冬支度をしましょう。



◎蛇口が凍って出ないとき

タオルか雑巾をかぶせて、上からゆっくりにお湯をかけて溶かして下さい。じかに熱湯をかけると、水道管や蛇口が破裂することがあるので注意して下さい。

◎水道管が破裂したとき

メーターボックスの中のバルブを締め、破裂した部分に布かテープを巻きつけて応急処置をし、指定工事店へ連絡し修理して下さい。

◎積雪期のメーター検針

水道メーターは2か月ごとに検針していますが、冬期間は積雪のため検針できないことがあります。その場合は、前回の使用量や前年同期の使用量を参考に料金設定をし、次回の検針で精算します。

▼問合せ先

市役所第二分庁舎 水道局

☎23・1014又は23・1013

魚津の夢を語る

市長と語る会

多くのみなさんのご参加、ご協力
ありがとうございます。

～市長と語る会の目的～

第3次魚津市総合計画による「市民と行政と一緒に考え、行動するまちづくり」の一環として、「人と自然と文化が共生する元気都市“魚津”」実現のために各地区の意見等を聞き、今後の市政に反映させることを目的としました。



魚津市長 石川 精二

各地区の提案・質問事項を一部抜粋して紹介します。

10月25日の大町地区を皮切りに行ってきました「市長と語る会」もほとんどの地区で終了し、各地区で活発な意見交換をすることができました。

実施にあたりましては、区長会長さんをはじめ多くの方々に世話になり感謝申し上げます。また、大勢の参加とともに、貴重なご意見、ご提案をいただきありがとうございます。ご意見、ご提案を参考にしながら、できるものからひとつずつ行っていきたく存じます。これからも市民のみなさんのご意見をお聞きしながら、より良い魚津市をつくるために努力して行きたいと考えています。

大町地区

10/25



メ ダカのある郷土を目指して休耕田などを借り上げ、池を掘り、メダカなどの住みやすい環境を作る。将来は子どもの水遊び場として、安全に留意し活用してはどうか。

魚津市をビオトープ(本来は生物の住む場所の意味。現在は学校、公園等の中に生物の住む場所として使われている)化し、自然と共生するまちづくりは市のイメージアップになると考える。休耕田をビオトープ化することで、子どもたちが自然に触れることは大切なことであるが、1年を通して水が必要なことから取水の問題や維持管理者、また、場所によっては周りの環境に影響をおよぼす恐れがあることから設置場所は限られてくると考えます。休耕田をビオトープ化することは今後の検討課題としたい。

公

衆トイレを改修・清掃し、訪れた人に魚津の印象を良くしてはどうか。

上口、諏訪町、二本松のトイレは県の施設ですが、管理については魚津市が受けています。これらのトイレの清掃については民間に委託をして、週2回の清掃を実施しておりますが、各地区の有志によって清掃や環境美化をなされていることも聞いています。トイレの汚染・破壊についての根本的な問題はマナーの問題であると考えますので、啓発活動を実施して行きたい。

空

き教室を高齢者ふれあいの場にしてはどうか。

一部の学校に余裕教室が生まれましたが、その数は少ないのが実情です。現在、それらの余裕教室はすべて学校教育をより豊かで楽しく充実したものとするために、いろいろな用途に使用されています。(多目的ルーム、生活科室、プレイルーム、児童会室、国際交流室、資料室など)したがって、高齢者ふれあいの場の実現のためには、そのようなニーズ又は要望の程度、お世話をする人の用意などいろいろ検討する必要があります。

また、学校施設を本来の目的以外の用途に使用する場合は、学校教育に支障のない範囲で行なうのが原則とされています。この件については、いくつかの条件が噛み合って、思惑が一致し、特にこれといった支障がなければ、十分可能だと考えます。

村木地区

10/26

ありそドームの「たてもん」の下額と横木の間に、太鼓をたたく人や幼児を、その上に笛を吹く人などの人形を配置してはどうか。また、文化財指定の7基の「たてもん」の実物大写真を掲示してはどうか。



ご提案につきましては、たてもんまわりのリアル感を出す意味においても、有効な手段と思われるので、導入に向けて検討して行きたい。

観光に対する取り組みについて、立地条件が良いのに個々のつながりが弱いと思う。観光物産館などを作り特産物の販売などに力をいれてはどうか。また、埋没林博物館と併設して層気楼展望地に「道の駅」を建設し、観光客の誘致を図ってはどうか。

現在、魚津北港の埋め立て改修が行われており、計画では、埋立地に漁協の荷捌き場が建設されます。これに併せ、魚津市の魚や特産品を販売する通

年的な施設を作れないか関係者と検討しているところです。

今後の老人福祉施設の理想的な建設場所として小学校、幼稚園(保育所)と隣り合わせの場所にされた方が、老人は子供達の姿や声を、目、耳にして元気に暮らせるのではないのでしょうか。

高齢者の皆さん方には、地域の人たちや子供たちとふれあいながら生活するのが理想的だと考えています。従いまして、今後の老人福祉施設については、地域の皆さんと交流、ふれあいができるような所に建設されることが望まれています。今後の福祉施設を小学校や幼稚園、保育所の近くにするのはまさに理想的ですが、現実には広い土地の確保等の問題もあり難しい面もあります。しかし、今後、そういった状況があれば、検討して行きたいと考えています。

旧市民研修センター跡地の利用計画は、(誰でも気軽に集まれる「ふれあいセンター」のようなもの)に出来ないか。

福祉関係では旧市民研修センター跡地の利用計画は持っていません。「高齢者ふれあいの家」は高齢者の生きがいと健康づくりを図るため空家を活用し地区社会福祉協議会等が運営管理しています。従って、旧市民研修センター跡地の利用には、不適當と考えていません。具体的な計画はまだ決まっています。

下中島地区

10/29



市連青事務局建物の活用方針はどうなっているのか

今後、市連青事務局が退去した場合、建物の管理上危険なこともあり速やかに取壊し、さら地にしようと考えている。その後の利用方法は地域で利用できるよう、今後検討して行きたい。

下水道事業の早期着工について現況と今後の見通しはどうか

平成9年に社会情勢の変化や処理人口の見直し等により、当地区を含めた全体計画の区域の拡大及び第3期事業認可(平成9年〜平成18年)を受け、現在、経田、吉島、本江地区周辺を中心に整備を進めています。下中島地区については、現在の計画では平成18年度以降となっていますが、来年度変更調査がありますので、うまくいけば16年度からできるのではないかと考え

ている。努力しているところなので、もう、しばらく待っていただきたい。

ありそ海夕日ページェントのミラージュランドでの継続開催について

ありそ海「夕日のページェント」は平成12年にありそドームで開催し、本年ミラージュランドで開催、約3500人の来場者があり、大変好評を得たものであります。今回は、地元の方のご協力を得て開催出来たものであり、深く感謝申し上げます。今後、これら周辺の方々の理解が得られるのであれば、実行委員会で充分協議し、ミラージュランドでの継続開催としていきたいと考えています。

魚津総合公園に関係する周辺整備について

築造後20年ほど経過し、遊園地の遊具の老朽化、入場者の減少もあり、公園全体のリフレッシュを検討しています。現在、早月橋の架け替えを行っていることから、それにあわせ、水族館、遊園地、パークゴルフ場、公園等の接続を考えながら、河川敷整備も含めて、自然型公園として整備して行きたい。また、補助事業にならないか国へも要望している状況です。

リフレッシュの内容については?

遊園地をリフレッシュし、水族館との接続を考えて相乗効果を上げたい。土木事務所等との協議次第だが、許されるのであれば海との接続も考えたい。



高 高齢化の進展が早い魚津市では、住民が心身ともに元気で暮らせる都市づくりを推進されていますが、ふれあいの場が少ないように思われる。家族が1日楽しくふれあう場を早期に検討してもらえないか。

西部清掃センターの整備や一般廃棄物最終処理場の建設に際し、上中島地区住民の方には、ご理解とご協力をいただき大変感謝している。ふれあい施設の建設にあたって地区と環境整備等に関して覚書を締結した事項については、可能なものから予算化し、順次整備に努めています。

上中島を考える会の皆さんからは、『仮称・ふれあいの里』として、温泉やレストラン、地元産品の売店などから成る「ふれあい会館と道の駅」を作っただけという提案も受けています。ただ、今後も事業費を含め、事業内容を検討して行きたいと考えています。

上中島地区では、県が急傾斜地崩壊対策事業を岩高地区と升田地区で実施中である。また、砂防改良事業を今年度湯上地区の大岩川で本堤工を施工中である。地すべり対策としては魚津土木事務所管内全域を対象として地すべり地区の見直しを実施している。

市としては、引き続きこれらの事業の早期完成を積極的に要望して行きたい。については、用地提供など事業進捗に地元の皆様の協力をお願いしたい。

小 中学校の通学道路、歩道設置整備について

通学路は、安全を第一に重視しながら、歩く距離・車の交通量・水路等の状況などを総合的に考慮して決められている。特に危険性が高い、あるいは事故等に会う確率が高いと思われる箇所については、地元から改善の要望が寄せられており、出来る範囲で対応してきている。歩道の設置を含む道路の改良については、多額の経費を要することや、用地の確保が可能ななど、いろいろ検討すべきことも多く簡単に出るものではないが、たとえば補助事業等にならないか、財源的に有利なものがないか、などを考慮にいれながら、実現に向けて努力したい。また、緊急性の高いもの、危険性の高いものから、優先的に対処したいと考えている。



松 倉保育園の別地移転について松倉保育園の敷地内を新幹線が通ることになるが、敷地が狭くなる。あるいは騒音など保育環境の劣化が懸念されることから、適地への移転の考えはないか。(例えばとみ里団地の未売地の活用など)

日本鉄道建設公団が示した北陸新幹線の路線平面図によれば、松倉保育園の一部が新幹線ルート上にあり、施設の移転が必要になると思われます。

保育園の移転等の問題については充分調査を行い、地元住民の意見を聞き、移転することを決定した場合には、工事等の進捗状況をみながら最善の場所に移転したいと考えています。また、移転先について、とみ里団地は有力な候補地の一つと考えられるところですが、いづれにしても地元の協力をお願いしたい。

北陸新幹線については、今後、地区の了解を得て、中心測量や地質調査が行われていく予定と聞いている。各地区の地元説明会では、騒音などの環境対策、残地補償や移転補償に関する質問のほか、新幹線通過による集落の分断に対する地域振興策についての質問も多かった。

可能なものやできないものもあると思いますが、地区の要望等については、今後地元とも十分協議しながら、市としても県と協力して実現に向け努力して行きたい。

戦 国のおろし祭りについて

戦国のろし祭りは、市制40周年を機に開催され、本年度10回目を迎えたところです。これまで開催地区の活性化や市内外の人との交流が図られ、多くの成果があったものと考えております。10年を節目に、今後の継続開催について松倉と上中島両地区で検討されていると伺っています。

市としては、地区の熱意・意見が最優先されるべきものであり、企画実施についても地区主体で行うのが祭り全体を盛り上げる要因であると考えています。祭りが継続開催される中で、市がどのように関わっていくのか、実行委員会のみならずとみ里地区と充分協議して行きたいと考えています。



桃 山運動公園を家族でハイキングなど、運動公園からもっと楽しく遊べる場としてイメージチェンジして活用を図ってはどうか。

桃山運動公園については、国体に向けて運動施設の整備を中心に進めてきましたが、現在は市民の多くの方々が家族で気軽に楽しく利用できる公園を目指しています。平成11年度には幼児用遊具、ベンチ、東屋等を配備したピクニック広場の整備、平成12年度からは、アスレチック等を備えた大型遊具のある遊具広場の整備を進めてきており、大いに利用していただきたい。さらに、今後、平成17年度までにスケートボード等が楽しめる舗装広場や雨天時にも活用できる屋根付広場等の整備を計画しています。



市 内全域にコミュニティバスを回らせてはどうか。

現在、市街地巡回バスの実験運行を行っているところですが、1日の平均乗車人員は、東ルートで3.4人、西ルートで0.7人、観光ルートでは8.7人となっております。乗車率は芳しくない状況にあります。また、各種イベントの際に要望のあるシャトルバスについても同様の事が言えます。

来年2月の乗合バス事業に係る需給調整規制の廃止を盛り込んだ改正道路運送法が施行され、市内のバス路線から採算の合わない路線については、休止・廃止することが考えられます。

市としては、高齢者等移動手段を持たない人の足の確保を図るための、コミュニティバスなど公共交通体系の確立を図っていきたいと考えています。

桃 山運動公園の迂回路の道路整備について

桃山運動公園の取付道路については、今年度の予算でコンサルタントにルート検討を委託しているところであります。補助事業で事業を実施する時は、道路構造令にあった縦断勾配、回転半径等、道路規格に合わせて計画する必要があります。又、現在の宮津方面へつながる道路のスーパー農道周辺は地すべり地帯があり、これをさけて検討をしています。各条件をクリアできるかが心配されるところです。

↑桃山に設置された大型遊具



人 々が訪れてみたくなる魅力あるまちづくりを進めては

「魅力あるまち」については、今年からスタートした、第3次魚津市総合計画の中で、「市民が元気で幸せに住みつづけるまちづくり」というまちづくりの基本理念があります。この基本理念では、社会経済の変化、地域社会の成熟化、市民ニーズの多様化に対し、「豊かな資源をいかし、新たな魅力を引き出すまちづくり」や「誰もが故郷に愛着をもち、魅力を育て、広めるまちづくり」をまちづくりの視点として捉え、市民と行政が、それぞれの責任と役割を果たし、互いに連携・協力しながら「魅力あるまち」を築いていくことをめざしています。

例えば、観光の立場から、魅力あるまちづくりを進めるとしたらこれまでの観光資源の充実はもちろんのこと、近隣市町と連携しての広域的な観光ル

トの設定や新たな観光資源の掘り起こしなど、第3次魚津市総合計画に基づき、魚津の魅力を発信し、観光の振興に努めていきたいと考えています。

人 口増加対策として定住者・転入者に対し税制面での優遇を図ってはどうか

市としては地方税法に基づいた公平・公正な課税を行っており、この観点から税そのものの減免等は問題があるものと思われず。しかし、住宅政策・福祉政策あるいは企業誘致の推進等総合的な面から人口増加対策を講じていきたいと考えています。

新 設図書館の整備について

新設図書館については、今年度中に基本的な計画を策定し、平成14年度に実施設計を行い、平成15年度及び16年度の2か年で整備し、17年度にオープンする予定で計画を進めています。

道 路標識、観光地案内板等の設置を増やすことや文字を拡大することについて

観光地誘導案内板については、北陸自動車道魚津ICや国道8号からのアクセスを中心に市内各所に案内板を設置しています。古い案内板や施設案内の看板などは、それぞれの立場で設置されているところから、大きさや、デザインが違っているのが現状です。質問の案内板の増や文字の拡大については、道路幅員や周辺の環境を考慮しながら、今後、検討して行きたい。



別

又々宇奈月線を観光開発の柱にしてはどうか。魚津市の大自然を有効に活用する観点から、拡幅工事をしてはどうか。観光道路との位置付けで当市、宇奈月町及び黒部市あるいは県等に働き掛けてはどうか。将来を見据えながら、人の流れを考えた場合、各市町の発展に寄与すると考えるが、

別又々宇奈月線は、魚津・黒部・宇奈月の2市1町にまたがる広域林道で秋の紅葉シーズンには、多くの人が訪れ、また、宇奈月側からは登山道として利用されています。ただ、観光道路として活用するには、道路拡幅が必要であり、さらに、一部区域では落石も多く、安全対策など充分考慮する必要があります。長期的な展望で、富山県をはじめ、関係機関と協議していきたいと考えています。

近

年鳥獣による農作物及び果樹等に被る被害が増加し、早急に効果的な対策をとる必要がある。

近年、種苗や収穫期を迎えた農作物を食い荒らすといった野猿被害が中山間地域を中心に発生していますが、これといった抜本策がないのが実情です。

現在、当市では有害鳥獣駆除隊によるパトロール、追い払い、殺傷を主として対応していますが、今年度から野猿に発信機を取りつけ、その行動範囲を把握することや、野猿防止柵(猿落君)を設置し、被害を最小限に食い止める施策を松倉地区を中心に行っています。また、これに併せて実のなる木の植樹も検討しています。当片貝地区でも鳥獣害防止対策が必要であると認識しており、住民の方々の協力を得ながら実施していきたいと考えています。

東

城橋200M下流右岸に河川敷公園の建設ができないか

河川敷公園では、市街地部や集落施設周辺での河川整備で、洪水敷(何年かに一度しか水の流れない高い部分)が設置され、日常的に公園として活用するため、市が占用を受けて設置するものです。片貝川では、下流の六郎丸地内と川の瀬団地附近で許可を受けています。また、昨年策定した片貝川流域環境整備構想では、拠点施設周辺で構想しており、具体化してきた段階で地元とも協議させていただきたい。



人

また、緊急時に対応できる道路網の整備を望む。断片的な道路整備でなく将来の都市構想に基づく計画的な道路整備が緊要であると考えます。

提案の趣旨については、全く同感です。そのため、市においては、8号バイパスや湾岸道路、スーパー農道を中心とした格子状の将来道路網計画に策定したところです。また、第3次魚津市総合計画において、新川地域の中心都市として、いきいきとした交流と快適な市民生活を支えるため、周辺市町と連絡する道路、都市の骨格を形成する道路などの幹線道路網と身近な生活道路網の整備を推進し、安全で円滑な交通が確保されることを謳っています。今後はこれら計画に基づき、順次その実現を図っていききたいと考えています。が、市民の皆さんには用地提供を含めご協力をお願いします。

労

災病院の存続を含め、安心して病気が治療出来る医療機関の整備を。開業医と総合病院が連携し、病氣予防に重点を置いた市民が安心できる医療体制が望まれる。

特殊法人等の改革が公表され、その中で労災病院業務について「研究機能を有する中核的病院と、労災特有の疾患を専門的に取り扱う病院以外は、労災病院としては廃止する。地域医療機関として、どうしても必要なものは、民営化、又は民間等に移管する」という考えが示されましたが、富山労災病院は、開設されて以来、勤労者医療の中心的役割を担い、産業界活動や市民の健康診査等疾病予防活動にも積極的に関与しています。

今後、富山労災病院の存続を強く要望していくとともに、病気の予防に重点をおいた市民が安心できる医療体制の充実に努めて行く。

吉

鳥住宅の整備計画はどうなっているのか

相当老朽化も進み、建替えの必要性を生じています。このため平成13年度に計画戸数、配置、周辺環境との調和などを検討するため学識経験者等を含めた委員会を設置し、「吉島住宅再生計画」策定を行っているところです。この結果を受けて、平成14年度以降に地質調査、実施・基本設計を順次行い、遅くとも平成16年度には建替えに着手したいと考えています。

市長と語る会、道下・経田・天神・西布施地区の内容については来月号に掲載する予定です。

栄えある受章 おめでとうございます

この道一筋に長年努力され、大きな功績を残されている皆さんが、このたび受章されました。今後より一層のご活躍をお祈りします。



谷口 芳綱さん
(金山谷 69歳)

昭和29年に魚津市消防本部に入り、昭和62年から消防司令長を5年間務められた。その間に、昭和31年の魚津大火や、現在の市消防合同庁舎の建設などに尽力されました。

勲六等单光旭日章



濱谷 佐久三さん
(大光寺 75歳)

元市議会議員。昭和51年から通算五期20年にわたって務め、この間、議長・副議長、建設・産業経済・文教厚生委員長などを歴任され、地方自治の伸展に貢献されました。

勲五等双光旭日章

12月市議会定例会日程



市議会本会議はケーブルテレビ5チャンネルまた、インターネットで生中継しています。(ケーブルテレビについては録画放送もありますので詳しくは、番組ガイドをご覧ください。)

- 6日(木) 定例会開会
- 12日(水) 代表・一般質問
- 13日(木) 一般質問
- 14日(金) 民生消防委員会
- 産業建設委員会
- 17日(月) 総務文教委員会
- 19日(水) 討論採決

訃報

魚津市名誉市民 金光邦三氏 永遠の眠りに



金光邦三氏

慎んでご冥福をお祈りします

魚津市名誉市民で初代魚津市長の金光邦三(かねみつ・くにぞう)氏が、去る11月9日逝去されました。享年104歳。

「魚津市お別れの会」を執り行ないます。

日時 12月21日(金) 午前10時から

会場 新川文化ホール小ホール

▶問合せ先 市企画広報室秘書係 ☎23-1016

金光邦三氏は、旧魚津町大字田方町生まれで、立命館大学法学部を卒業。終戦直後の大変動期に、郷土の魚津町長に就任され、昭和27年から31年まで、魚津市の初代市長として今日の魚津市制の礎を築き、市勢発展のため多大な貢献をされました。なかでも、市制発足直後に当市を襲った未曾有の大水害の復興や昭和29年の富山産業大博覧会の開催に尽力され、「ホテルイカ」「蜃気楼」「埋没林」を広く県内外に紹介しました。

その後、神戸市において弁護士として活躍し、昭和41年には神戸市弁護士会長に就任。昭和50年には勲三等瑞宝章を受章され、平成4年に魚津市名誉市民に推戴。

また氏は、「薫風や 今日ぞ晴れたる 毛勝山 93歳 青甫」など郷土を愛する多くの句を詠まれ、また、金光文庫を寄贈されるなど、市の文化の振興にも多大な貢献をされました。

平成 13 年度
上半期

《市の台所事情》をお知らせします。

一般会計の執行状況

一般会計の歳入歳出予算総額は

184 億 7,535 万円

市の財政状況がどのようになっているかを
1年に2回(6月と12月)、市民の皆さんにお
知らせしています。

平成 13 年 9 月 30 日現在の平成 13 年度予算
の執行状況を表にまとめてみました。

(万円未満四捨五入)

歳入	区分	予算額	収入済額	収入割合
		万円	万円	%
	市 税	69億2,400	32億 5,520	47.0
	地方交付税	40億2,900	25億 7,569	63.9
	国庫支出金	12億1,914	2億 4,290	19.9
	県 支 出 金	9億3,142	1億 8,659	20.0
	地方消費税交付金	5億0,000	2億 6,977	54.0
	分担金及び負担金	4億6,765	2億 1,048	45.0
	繰越金	3億6,550	7億 7,855	213.0
	使用料及び手数料	3億3,588	1億 7,329	51.6
	その他	37億0,276	5億 1,987	14.0
	合 計	184億7,535	82億 1,234	44.5

歳出	区分	予算額	支出済額	支出割合
		万円	万円	%
	民 生 費	38億9,828	14億6,369	37.5
	公 債 費	28億2,426	12億4,611	44.1
	総 務 費	24億9,323	11億2,239	45.0
	土 木 費	24億1,358	5億9,118	24.5
	教 育 費	19億2,588	7億4,418	38.6
	衛 生 費	16億2,636	2億6,601	16.4
	農林水産業費	11億6,075	2億3,879	20.6
	商 工 費	11億4,562	6億6,721	58.2
	その他	9億8,739	4億2,488	43.0
	合 計	184億7,535	67億6,444	36.6



平成 13 年度の予算で完成した
上野方特定公共賃貸住宅

●職員の経験年数別・学歴別平均給料月額 の状況

(注) 経験年数とは、卒業後直ちに採用され、引き続き勤務している年数をいいます。

区 分	初 任 給	経 験 年 数			
		7~10年	10~15年	15~20年	
一 般 行政職	大学卒	174,400 円	235,500 円	285,000 円	348,200 円
	高校卒	141,900 円	188,900 円	215,400 円	308,700 円

●一般行政職の級別職員数の状況

(注) 市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。

国の級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	計
市の級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	
職 名	主事	主事	主事	主事	主任	係長	主幹	課長	部長	
職員数	0人	26人	46人	33人	6人	16人	41人	45人	21人	234人

●職員手当の状況 (平成 12 年度の支給割合は、国家公務員と同じです。)

期 末 ・ 勤 勉 手 当	期 末	勤 勉		退 職 手 当	自己都合		勸 奨
		月分	月分		勤続年数	月分	
	6月期	1.45	0.6		20年	21.0	
12月期	1.6	0.55	30年	41.25	54.45		
3月期	0.55		35年	47.5	62.7		
計	3.6	1.15	最高限度額	60.0	62.7		

●給与費の状況 (一般会計予算)

区 分	平成 13 年度	
職員数 (A)	426 人	
給 与 費	給 料	17億5,887万1千円
	職員手当	8,910 万 1 千円
	期末・勤勉手当	7億7,030万6千円
計 (B)	26億1,827万8千円	
1人当たり給与費(B/A)	614 万 6 千円	
平均給料月額	33 万 9,400 円	
平均年齢	42 歳	

(注) 1. 職員数は、平成 13 年度一般会計の当初予算に計上された人数です。
2. 職員手当には退職手当を含みません。
3. 給与費は、当初予算に計上された額です。

平成 12 年度末の住民基本台帳人口は、4 万 7 1 6 0 人で、平成 12 年度一般会計歳出決算額は、1 9 2 億 8 1 6 8 万 9 千円、このうち人件費は、38 億 1 0 3 9 万 8 千円で 19.8 パーセントとなっています。平成 13 年 4 月 1 日現在の給与等の内容は、次表のとおりです。

●市職員の給与状況を公表します

特別会計の執行状況

会計区分	予算額 万円	執行状況			
		収入済額 万円	収入割合 %	支出済額 億 万円	支出割合 %
下水道事業	27億5,600	1億8,268	6.6	8億0,052	29.0
農業集落排水事業	17億1,798	1億0,557	6.1	3億2,286	18.8
簡易水道事業	2億4,485	3,662	15.0	6,509	26.6
国民健康保険事業	34億2,454	10億5,247	30.7	13億6,387	39.8
老人保健医療事業	54億2,069	22億8,552	42.2	23億3,379	43.1
介護保険事業	23億4,810	10億5,408	44.9	10億6,489	45.4
水族館事業	2億1,090	6,155	29.2	9,444	44.8
CATV事業	5億2,100	1億0,392	19.9	9,779	18.8
合計	166億4,406	48億8,241	29.3	61億4,325	36.9

市債の状況

総額（一般会計） 184億6,777万円
 市民一人当り 38万8,600円

区分	借入額
縁故債	62億9,297万円
土木債	44億0,233万円
教育債	26億3,573万円
減税補てん債	16億4,006万円
その他	34億9,678万円

市有財産の状況

土地	1,067.850 m ²
建物	199.195 m ²
基金	46億5,029万円
有価証券 ・その他	5億6,193万円

水道事業の業務状況

●業務の状況 《平成13年9月末現在の状況です》

- 給水人口 38,292人 ・ 給水栓数 13,149栓
- 給水量 193万3,497m³（前年同月対比98.3%）



●損益・資本収支の状況

区分	収入予算額 万円	収入執行額 万円	割合 %	支出予算額 万円	支出執行額 万円	割合 %
損益的収支	6億6,544	3億3,424	50.2	6億1,526	1億7,077	27.8
資本的収支	2億9,345	345	1.2	5億0,099	1億4,048	28.0

●特別職の給料・報酬などの状況

（平成13年12月1日現在）

区分	月額
給市長	1,010,000円
助役	810,000円
収入役	720,000円
報議長	490,000円
副議長	440,000円
議員	410,000円
期末手当（12年度実績） 3.60月分	

（注）「特別職報酬等審議会」の答申に基づいて条例で定めています。

●部門別職員数の状況（平成13年4月1日現在）

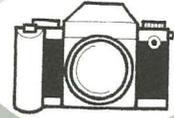
（単位：人）

部門	主な所属	職員数		対前年増減数	主な増減理由
		平成12年	平成13年		
一	議会 議会事務局	6	6		
般	総務 企画広報室・総務課・財政課・会計課など	76	68	△8	国体終了による事務局の廃止による減員
	税務 税務課	21	21		
	労働 職業訓練センター	2	2		
	農水 農業水産課・農林振興課	21	21		
	商工 商工観光課	7	6	△1	ありそドムの運営・管理の民間委託による減員
	土木 建設課・都市計画課・公園住宅課	40	41	1	用地買収事務の業務量の増による増員
行	民生 社会福祉課・市民生活課・保育園など	115	114	△1	介護保険事業の特別会計への移管による減員
	衛生 市民生活課（環境係）・健康センター	19	18	△1	欠員不補充による減員
	小計	307	297	△10	
政	教育 教育委員会	84	83	△1	児童数減少による業務員配置の見直しによる減員
	消防 消防本部	47	46	△1	業務合理化による減員
	小計	131	129	△2	
一般会計		438	426	△12	
公営企業等特別会計	水道 水道局	12	12		
	下水道 下水道課・浄化センターなど	22	22		
	その他 保険年金課・高齢介護課・水族館など	26	27	1	介護保険事業の一般会計からの移管による増員
	小計	60	61	1	
合計		498	487	△11	職員定数は521名です。

（注）職員数は一般職に属する職員数であり、地方公務員の身分を保有する休職者・派遣職員などを含み、臨時又は非常勤職員を除いています。

こんなことがありました

まちの話題



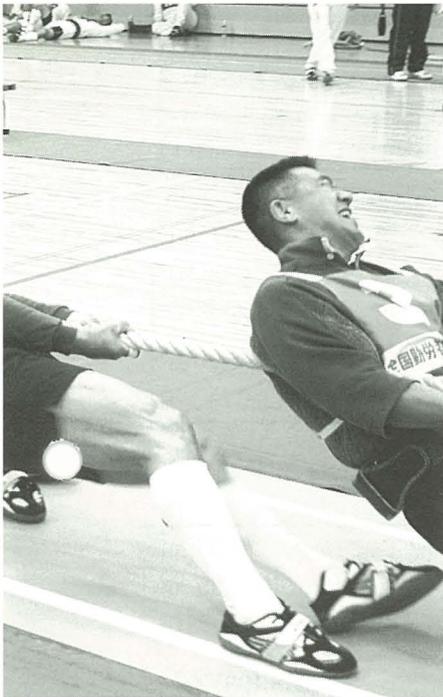
11/7

音楽文化はいつまでも

洗足学園魚津短大音楽科最後の定期演奏会



11月7日、新川文化ホールで、洗足学園魚津短大の音楽科定期演奏会が行われ、訪れた聴衆を魅了しました。演奏会は、来年春に学園が閉校となるため今回が最後となります。ピアノや電子オルガンの独奏をはじめ、テノールやソプラノの独唱、マリンバの四重奏など多彩なステージを披露しました。会場には卒業生や市民が大勢詰めかけ、表現力豊に奏でられる音色にじっくりと耳を傾けていました。



11/18
力と力、静かなる
真っ向勝負

11/8

さらなる記録の向上をめざして

障害者スポーツ大会での好成績を報告

宮城県で行われた第一回全国障害者スポーツ大会に出場した3選手が、11月8日、市役所を訪れ市長に成績を報告しました。山田義光さん(写真右・大海寺野)は、ソフトボール投げで大会新記録で優勝するなど3選手とも表彰台に上る好成績を修めています。市長が「これからも頑張ってください」と激励すると3人も「来年はもっと記録を伸ばしたい」と抱負を話しました。



地域の催しものなど企画広報室
 広報広聴係へお知らせください

☎ 23-1015

E-mail

kouhou@city.uzo.toyama.jp



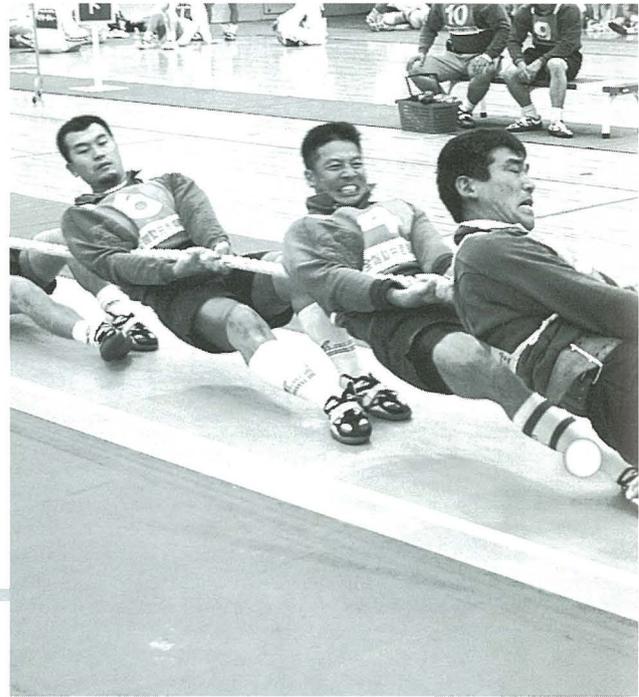
11 / 14

救命は心肺蘇生が肝心 村木地区自主防災組織で救命講習

秋の火災予防運動期間中の11月14日、村木地区自主防災組織のみなさんが、心肺蘇生法などの普通救命講習を受講しました。

参加者は消防職員の説明に従って、人工呼吸や心臓マッサージなど救命に必要な技術を学び、実際に人形を使って実践します。中には力が入りすぎて、思わず汗ばむ人も。みなさん、「いざ」という時のために真剣なまなざしで講習を受けていました。

消防署では12月7日(金)に、一般向けに普通救命講習を行うことになっています。家族の誰かが倒れたり、けがをした場合でもすばやく応急手当ができるようになりますので、みなさんも受講されてはいかがでしょうか。



全国勤労者綱引き大会

11月18日、ありそドームで第13回全国勤労者綱引き大会が行われ、魚津市からも3チームが参加しました。大会4連覇をねらった魚津サッシ綱引きクラブは善戦しましたが、惜しくも2位にとどまりました。

静寂の中から、気合の掛け声と共に試合が始まると「ギンギン」と綱のきしむ音が響きます。各選手は顔を真っ赤にして懸命に綱を引き合い、試合後はお互いの健闘をたたえ、爽やかに笑顔で握手を交わしました。

11/22 長寿の秘けつは食生活から 高齢者クッキング教室開催



普段は、厨房にはあまり立たない男性も積極的に参加しました。

11月22日、健康センターで65歳以上のお年寄りを対象に「高齢者クッキング教室」が行われました。

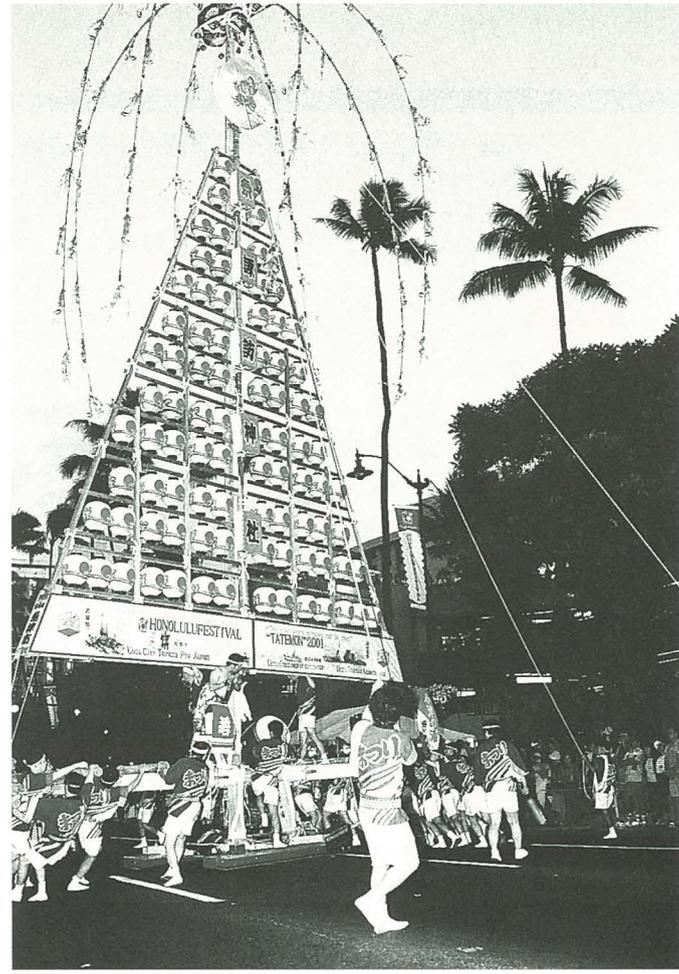
教室は楽しい食生活を通して、健康増進を図ることを目的として開催され、この日はまず、栄養のバランスの取れたメニューや、食事はゆっくりとよく噛むことといった健康的な食事の仕方について学びました。

その後4つのグループに分かれて調理に移り、鶏肉と野菜の煮物、野菜たっぷりのみそ汁など5品をつくり、全員で試食しました。



勇壮な「たてもん」を いつまでも

魚津たてもん保存会のみなさん



たてもんは今年の春初めて海を渡り、その勇壮な姿を世界にアピール。また魚津の浜っ子の心意気を見せ、多くの観光客を魅了しました。

魚津の夏の風物詩と言え
は何と言っても「たてもん」
です。小さな漁村のお祭りが
今や国の無形民俗文化財に
指定されるほどの一大イ
ベントになりました。

たてもんは震災の翌年、
神戸で公演されるなどこれ
までも様々な地方でその勇
壮な姿を披露してきました
が、今年3月にはハワイ・
ホノルルで初めての海外公
演を行い「タテムン・ピュ
ティフル」と絶賛され、あ
らためてその存在感をアピ
ルしました。

「これまでが一番苦労し

たことといえは担ぎ手を集
めることかなあ。」と話す
のは保存会会長の小林さん。
「国の文化財指定を受けた
のは7基のたてもんが勇壮
に舞う祭りなんです。地
区住民の減少などで担ぎ手
が間に合わなくなり、やむ
をえず6基しか出せなかつ
た年がありました。これ
はせっかくの祭りが盛り上
がらなくなると感じ、保存
会の組織を直し、地区に
由来のある人や、たてもん
ボランティアを募って担ぎ
手を確保しています。」

今までに一番嬉しかった

魚津たてもん保存会 富山県功労賞受賞祝賀会



この秋たてもん保存会は富山県功労賞を受賞し盛大に祝賀会が行われました。(写真は小林会長)

ことを尋ねると、「毎年2
日間ケガ人もなく無事盛大
に祭りが終わってくれば
それが一番嬉しいですよ。」と
話されました。

「来年もまた、ホノルル
公演に行く予定です。私た
ちがたてもんを曳くことで
世界に魚津をPRすること
になるし、なによりもたて
もんの勇壮さを伝えられる
のが嬉しいですね。応援ツ
アーも企画されているみた
いですから市民の皆さんに
もぜひ現地で見てください
たいですよ。」と次回海外公
演にむけての抱負を話して
くださいました。

屋気楼・ホタルイカ・埋
没林の三大奇観ならんで
魚津の顔となりつつある
「たてもん」をいつまでも
受け継いでほしいものです。



山下 由里子さん(北鬼江)

スポーツ観戦が大好きで、先日行われた男子バレーの紅白試合も見に行きました。これからもいろんなスポーツを見に行きたいです。富山にK-1が来てくれないかなあと密かに期待しています。
子どもが同級生同志の朝野さんへ



酒井 由香さん(仏田)

魚津に来てから早9年、最近は子どもの手も離れたのでそろそろスポーツでも始めたいと思ってます。とりあえずこの冬は、子ども達と一緒にスキーでもやってみようかな？
話し友達の山下さんへ

友だちのわで紹介されたら、テレビないで参加してください。お願いします。

11月号の伊藤さんから
スタート

わたしからあなたへ

友だちのわ

